

平成 30 年度兵庫県サービス管理責任者等研修 【就労分野】 事前課題 案内

課題 1	自己紹介シート（記入し、研修当日に持参してください。受付で確認） グループ演習の自己紹介の時に活用します。1人1分の時間制限の中で自分自身をアピールしてください。また、④「研修を終えてどのようなサービス管理責任者になりたいか」については、実際に研修を終えた最終日に記入していただくことで、研修を終えての心境の変化を捉えていただきます。
課題 2	地域資源マップ チェックリスト（9月25日（火）までに次ページ宛先に郵送） それぞれの地域にある社会資源について、事業所や機関の役割、自事業所の地域内に該当する事業所や機関の実際の名称等も調べてください。また、それぞれの設問に対しても回答してください。
課題 3	連携機関の選択について（9月25日（火）までに次ページ宛先に郵送） 設問の2事例に対し、あなたが考える支援に必要な関係機関を選択し、その理由も記入してください。（2事例あります）
課題 4	事例研究 I（読み込んで研修当日に持参してください） 課題整理表（9月25日（火）までに次ページ宛先に郵送） <u>この事例を使用して演習を進めます。事例の内容を読み込み、別紙の課題整理表にまとめて持参して下さい。</u> 内容については、理解しているものとして進めさせていただきます。 演習としては、課題分析（アセスメント）、個別支援計画の作成、モニタリング、個別支援計画の修正、サービス管理責任者の視点等を演習（グループワーク）形式で行っていただくこととなります。
課題 5	「障害者雇用に関する各種援助」を把握し、演習に参加してください。 ※出典「障害者職業生活相談員資格認定テキスト～第6章 1節～」 上記以外にも詳細を知りたい方は、下記URLで検索してください。 http://www.jeed.or.jp/disability/data/handbook/guidebook/h28.html

※課題 1 については、各演習日の初日に持参してください。

※課題 2、課題 3、課題 4（課題整理表）は、次ページの宛先に 9 月 25 日（火）までに郵送してください。

※課題 5 は、各自で読み込んでおいてください。

留意事項

サービス管理責任者等研修の申込みの際に、推薦理由を記載された
申し込み責任者の方に、作成した事前課題の全てを確認いただき、
各様式に署名と押印をしていただいてから提出してください。

平成30年9月25日（火）必着の締め切りを過ぎた場合、明らかな不備が多数ある場合は、受講継続できませんので、ご注意ください。

【提出課題】

課題2・課題3・課題4（事例概要は郵送に含みませんが、演習当日に持参してください）

【締め切り日】

平成30年9月25日（火）必着

【宛先】

651-2181

神戸市西区曙町1070

総合リハビリテーションセンター福祉のまちづくり研究所 研修課

「サービス管理責任者研修 就労分野 事前課題在中」朱書き

【問合わせ先】

社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 総合リハビリテーションセンター
福祉のまちづくり研究所研修課 078-927-2727（内線 3712）担当：谷垣

自己紹介シート

整理番号 _____ 氏名 _____

演習時にグループ内で自己紹介をします。1分以内に自己紹介が出来るようにアピールの要点をまとめてください。以下の項目を参考に、あなたらしさをお伝えください。ただし時間厳守です。また、「どのようなサービス管理責任者になりたいですか」の項目については、研修受講前のみ記入していただき、研修終了後に改めて記入いただくことで、研修受講前と後で、どのように変化したかを捉えていただきます。

お 名 前		出 身 地	
趣 味 ・ 特 技		今チャレンジしたいこと	
得 意 な こ と		苦 手 な こ と	
勤 務 先		経 験 年 数	
①福祉の仕事に就いた動機・原点			
②大切にしている価値観・人生観			
③どのようなサービス管理責任者になりたいですか。			
④研修を終えて、どのようなサービス管理責任者になりたいですか。 「研修受講後に記入しますので、事前課題の時点では、空白にしておいてください」			

各演習日の初日に持参してください。

上記内容を確認しました。 申込み責任者 氏名 _____ 印

課題2

地域資源マップ チェックリスト

平成30年度サービス管理責任者研修 就労分野

整理番号

氏名

地域にある様々な社会資源について、「就労支援事業所のサービス管理責任者」を意識し下記の項目に沿って調べてください。

①については、実際の機関名称を1つ記入してください。②役割は全て記入してください。③については、現在連携している事業所は、その内容を記入し、連携していない、もしくは既存の就労支援事業所がなくこれから開設予定の方は、今後必要とされる連携内容を記入してください。

関連機関	①自事業所の所在地域にある実際の機関名称	②役割	③必要とされる連携内容について
例) 就労移行支援事業所	例) ※複数の事業所がある市町村については、事業所を1つ選定して記載してください。	例) 一般就労等への移行に向けて、事業所内での訓練、企業等における実習、適正にあった職場探し、就労後の職場定着のための支援を行う。	例) B型を利用されている方が、一般就労への意向があった際に、就労についての実践的な訓練や実習、定着支援についてのイメージを持ってもらうため、適宜見学会を企画、協力してもらい、本人の希望に応じて利用変更をする為の連携を取りたい。
ハローワーク			
就業・生活支援センター			
相談支援事業所			
就労継続支援事業所			
特別支援学校			
障害者職業センター			
職業訓練校			
自治体障害福祉担当部署			
市町村社会福祉協議会			
地域障害者自立支援協議会			
発達障害者支援センター			
高次脳機能障害支援センター			
難病相談支援センター			
障害者更生相談所			

締切日 平成30年9月25日(火)までに事前課題案内の宛先に郵送してください。

明らかな空白等の不備がないこと、上記課題内容について確認しました

申込み責任者氏名

印

平成30年度サービス管理責任者研修 就労分野 事前課題3

整理番号 _____ 氏名 _____

連携機関の選択について

サービス管理責任者として従事するにあたり、様々な関連機関（社会資源）との連携が必要になってきます。ご利用者のより良い就労支援の提供、個別支援計画の作成に必要な社会資源の活用、関連機関との連携のために、下記2事例の設問に対し、あなたが支援するうえで、必要と考える機関はどこに該当するのかをお答えください。

【事例1】※あなたはB型のサービス管理責任者です。

特別支援学校卒業後、就労継続支援B型事業所を利用しているAさん（療育B2）が意向の聴き取り時に「1年後を目途に一般就労をしたい」と初めて意向を示される。

事業所でのアセスメントでは、作業スキルは習得までに時間がかかるが、覚えるとミスはなく就労の意識も入所時から高くなってきた。報連相の点では常に近くに支援員がいる為、適した報告方法は身につけていない。

対人関係は、学生時代からの課題で他者への言動に対しトラブルを起こすことがあがっていたが、支援員が傍にいる環境であることもあり事業所では見られていない。

※上記の内容を踏まえてどういった機関と連携し就労に向けて支援していきますか。

【必要と考えられる機関名称を4つ以上記入してください】	【具体的に理由を記載】 空白は認められません
①	
②	
③	
④	
()	
()	

整理番号

氏名

【事例 2】※あなたはA型のサービス管理責任者です。

精神 3 級（うつ）の B さん。就労継続支援 A 型を数年利用したあと、ハローワークの紹介で一般企業の事務補助で障害者雇用として働く。

7 か月ほどして会社の上司が変わりパソコンスキルが無いことを理由に心理的虐待を受けていると、以前利用していた A 型のあなたの所に相談しに来られる。本人としては、このまま居続けるつもりはなく再就職を考えている。単身で年金も受けていない為、金銭面のことも含めてすぐに働きたい。

金銭管理では、事業所の時に小遣い帳を付ける支援等も行ったが、使いすぎてしまうことが多く管理は難しい。

※上記の内容を踏まえてどういった機関と連携し就労に向けて支援していきますか。

【必要と考えられる機関名称を 4 つ以上記入してください】

【具体的に理由を記載】 空白は認められません

①

②

③

④

()

()

締切日 平成 30 年 9 月 25 日（火）までに、事前課題案内の宛先に郵送してください。

上記内容について、確認しました。

申込み責任者氏名

印

演習 事例研究 I

課題 4

■利用事業所及び地域の状況

利用事業所	多機能型事業所（平成 19 年度に移行） 就労継続支援 B 型事業 定員 40 名 就労移行支援事業 定員 20 名 ※ 利用者の主たる障害は知的障害だが、身体・精神の重複障害がある方や発達障害のある方も利用されている。	
事業所所在地の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人口約 150 万人の政令指定都市で、県庁所在地などの主要都市までは電車で 20 分程度であり、交通の便は整っている。 ・市西端に位置した当該区は自然環境に恵まれており、稲作の他、都市近郊の農業地域として、園芸・畜産・観光農園等の産業が盛んである。 ・近年は精密機器等の先端分野の工場の進出が相次ぎ、工業団地等の開発が進む。 ・最寄駅からは徒歩で 20 分程の場所に立地している。 ・ハローワークまでは車で約 10 分である。 ・地域の自立支援協議会に就労支援部会が設置され、少しずつではあるが事業所間の連携ができてきている。 	
地域の社会資源の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・区内には相談支援事業所、就労推進センター、就労移行支援・就労継続支援 B 型事業所、就労継続支援 A 型事業所等、就労支援の主要な機関がある。また、隣接市には当該地域を所管するハローワークの他、就労・生活支援センター、グループホーム等もある。 ・圏域レベルでの就業支援ネットワーク会議が定期的に運営されており、関係機関の繋がりがあり、連携が可能な地域である。 	
サービス提供日・時間	平日 9:00 ~ 17:00	
主な作業内容	施設内作業	工賃 ・基本工賃 約 3 万円
	◆受託作業（アンテナ組立、菓子箱組立、二重袋他）	
	◆自販機管理作業（商品発注、補充、売上集計他）	
	◆清掃作業（館内清掃他）	
	◆食品加工作業（パン・弁当の製造販売）	
	施設外作業	
◆特養施設の作業（居室、廊下等の清掃他）		

演習 事例研究 I

◎1 日目に行う演習の事例です。A さんのプロフィールを読んでおいてください。演習の流れや詳細については当日説明します。

■利用者（A さん）のプロフィール

性別・年齢	男性 29 歳
障害の状況	知的障害・療育手帳 B 1
身長・体重	165cm、68kg
当事業所を利用するまでの経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の公立中学に通い、2 年の時に療育手帳を取得する。 ・地元から離れた知的障害者更生施設（児童寮）に入所し、特別支援学校高等部に進学する。 ・高等部を卒業後、父親の経営する宅配弁当を手伝うため、父親との生活を始める（母親は別居中）。 ・当初、宅配弁当の手伝い（配達補助や洗い物等）を行っていたが、父親からの仕事の指示や小言を、素直に聞き入れることが出来ず、喧嘩になることがしばしばあった。その際、本人は家を飛び出し、夜中まで営業しているゲームセンター等で過ごし、お金がなくなると近くの交番に助けを求め、地元の相談事業所に連絡が入るといった行動を繰り返した。 ・25 才の時、父親が軽い心臓疾患で倒れ入院する。退院後、父親より、本人の今後について相談したいとの依頼があり、相談事業所にて相談を受けることとなった。 ・父親からの相談内容としては、 <ol style="list-style-type: none"> ①今現在は家の手伝いをさせているが、仕事に対する認識の甘さと、親元で働いていることからくる親に対する甘えから、少し厳しくするとすぐに臍を曲げて逃げ出してしまう。 ②一度、外で働くことを経験すれば、もう少し真剣に仕事できるようになるのではないか。 ③出来ることなら、外で働く経験を積ませたい。 ・相談の結果、一度外の会社や事業所等で就労を経験し、いずれ本人が希望すれば、再度父親の事業を手伝う方向で調整することとした。 ・就職を目指すことに本人も同意したため、就労移行支援事業所の利用調整を行った結果、A 事業所を利用することとなる。
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・両親離婚。父親（63 歳）と二人暮らし。 ・隣の街に母親はいるが、再婚して生活している。 ・母親とは家出した時に転がり込むことあり。 ・兄（34 歳）は県外で仕事をしている。 ・小遣いは、自営の宅配弁当の手伝いの給与も含め、月 3 万円渡している。
健康状態	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な通院・服薬はないが、父親にくっついてかかる、イライラする等の症状を呈した際には精神科クリニックを受診し、頓服薬を処方してもらったことがある。本人曰く「きれいやすいから・・・」との理由で向精神薬を服用したとのこと。 ・食生活を含め規則正しい生活習慣が身に付いておらず、風邪等、体調を崩すことが多い。

<p>本人の様子 【作業面】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、A事業所を利用するようになり3ヶ月が経過する。 ・作業は食品加工科にてパン販売の作業に従事しており、周りの人とも協力しながらパンの運搬や陳列、袋詰め等に取り組む（作業時間は7時間/日）。 ・体を動かす作業が好きで、商品の運搬など意欲的に取り組もうとする姿勢が窺えるものの、如何せん作業中の私語が多く、知人の顔を見つけると作業の途中でも手を止めて持ち場を離れたりと、作業が雑になったりと、集中して作業を続けるのが難しい。今は作業と休憩のけじめをつけることを目標に取り組んでいるが、作業中でも仲の良い利用者が傍にいるとついふざけてしまうことがある。 ・手先は器用な方ではなく、クッキーの袋詰め等、手先を使う作業を続けると、綺麗に袋詰めできずに袋を汚すなどの不良を出してしまう。また、手を止めて退屈そうにキョロキョロしたり、居眠りしそうになることも多い。 ・作業指示等は口頭で理解できるが、複数の要件を一度に伝えた時は、内容の一部を忘れていたり、誤って記憶していたりする。また、よく理解できていないことでも分かったように返事してしまう事があるので、トラブルに繋がることもある。 ・支援者からの提案やアドバイスには「はい、分かりました」と素直に応じることができる。（作業の段取りや順番を忘れることがあるので）メモの活用を提案してみたところ、複数（3冊）のメモ帳を作業ズボンのあちこちのポケットに入れ、メモ帳への記入もページを飛ばしてあちこちに書いてしまい、後から見ようとしても、記録が見つからないことがあった。 ・大きな声で挨拶や返事ができ、言葉遣いも（意識していれば）その場に合わせた話し方ができるが、慣れてくると砕けた言葉遣い（友達感覚の話し方）になりやすい。 ・簡単な漢字の読みはできるが、書くことは苦手である。簡単な足し算、引き算等の計算もできる。 ・気分によって作業のモチベーションが左右される。朝、父親と喧嘩した日は元気がなく作業が手につかない様子で、そんな時には面談をして話を聞き、本人の気持ちの整理を手伝うとすっきりして作業に取り組めるようになる。
<p>本人の様子 【生活面】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレス耐性が低く、上手くいかないことがあるとイライラが抑えられなくなる。父親の小言に耳を貸さず、意に沿わないとすぐに家を出てしまうことなどから、後先考えず、突発的な行動にでることがある。 ・コミュニケーションは通常の話し言葉で遣り取りできるが、物事を理解して相手に分かりやすく説明することは苦手である。 ・日常の言葉遣いは馴れ合い言葉で、時に馴れ馴れしく態度が度を越すことがある。面談等の場面でも、その場の空気を読まずにふざけてちゃかした返答をして、注意を受けることがあった。 ・身だしなみについては、ひげを剃っていなかったり、ズボンが汚れていたり、髪の毛が整えられていないこと等々があり、だらしない面が目立つ。また、私物の管理も苦手で、ロッカーの中は雑然として、いる物いない物が区別無くぐちゃぐちゃに放り込まれている。 ・就寝時間が遅い様子で、生活リズムの乱れからか、作業中の居眠りなども目立つ。 ・人と話すことが好きで、行事やイベントにも積極的に参加する。基本的には明るい性格で親しみやすく、周りのみんなから親しまれやすい。休日は買い物やゲームセンターに出掛けたり、友人とカラオケなどに行ったりして、楽しく過ごしている。 ・お小遣いは工賃の3万円、その他は必要な時に父親からお金をもらっている。

<p>最近のエピソード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害基礎年金 2 級を受給。 ・月曜日、「土曜日から本人が家に帰ってきていないので 2～3 日休みます」と父親から電話連絡が入る。 *今回が始めてではないので心配はしていないとのこと。 ・翌日の火曜日、本人が〇〇警察に保護され帰宅したとの連絡が入る。 本人に面談し、この間の行動を問うたところ、初日は H 市の公園で野宿し、翌日は電車で O 県までへ行き、その後 A 市まで戻り、神社で野宿した。 翌日は地域の住人に声を掛けて饅頭やウインナーをもらって、そのまま A 警察に保護されたとのこと。 ・施設を無断で休んだ理由は、女性利用者に偉そうに言われたことが原因との談。 本人との面談で、今後、どうしていききたいのかを確認すると、頑張って就職を目指したいとの意向にて利用を再開する。
<p>ニーズの聞き取り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆本人より <ul style="list-style-type: none"> ・将来はお父さんの弁当屋を手伝おうと思っているが、とりあえずは就職したい。 どんな仕事ができるのか分からないけど、会社で働いてお給料をもらいたい。 ・今よりたくさんお金を稼ぎたい。 ・今のパンの仕事はパンを並べたり、袋に詰めたりと、僕には難しいと思っている。 ただし、お客さんに「いらっしゃいませ」や「ありがとうございました」と挨拶するのは楽しい。パンを売るのは嫌じゃないけど、掃除とか他の仕事もしてみたい。 ◆父親より <ul style="list-style-type: none"> ・これまで家の手伝いをさせてきたが、仕事に対する認識の甘さと、親元で働いていることからくる親に対する甘えから、少し厳しくするとすぐにへそを曲げて逃げ出してしまう。 ・一度、外で働くことを経験すれば、もう少し真剣に仕事できるようになるのではないか。 ・出来ることなら、外で働く経験を積ませたい。

※郵送の必要はありませんが、各演習日の初日に忘れないよう必ず持参してください。

課題4 課題の整理表

利用者名 Aさん

整理番号 _____

受講者氏名 _____

	ご本人の意向や希望等	背景・状況等
ニーズと背景 こんな生活がしたい		
項目	気づき（長所・短所等）	支援課題（本人 or 環境調整等）
仕事 の力 （職務の遂行力） 知識や技能等		
労働習慣 （職業生活の遂行力） あいさつ・返事・報告・連絡・相談・身嗜み・規則遵守・感情コントロール・体力等		
コミュニケーションの力 （意思の疎通）		
日常生活の力 （日常生活の遂行力） 生活リズム・金銭管理・余暇・移動能力等		
健康管理の力 （疾病・障害の管理） 食事栄養管理・体調管理・服薬管理等		

※支援課題の本人or環境調整等は「本人」が取り組むべき課題と、支援者等による「環境調整等」により改善を目指す課題を指します。

締切日
平成30年9月25日（火）まで
に郵送

明らかな空白等の不備がないこと、上記課題内容について確認しました。
申込み責任者氏名 _____

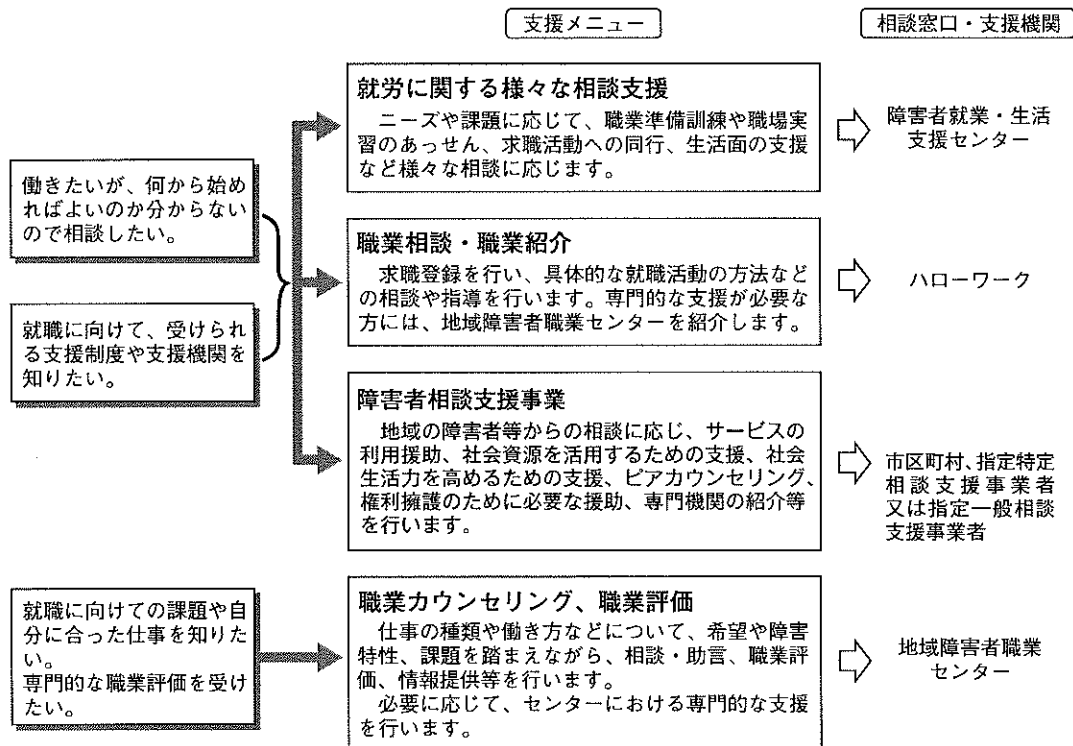
印

第1節 援助メニュー一覧

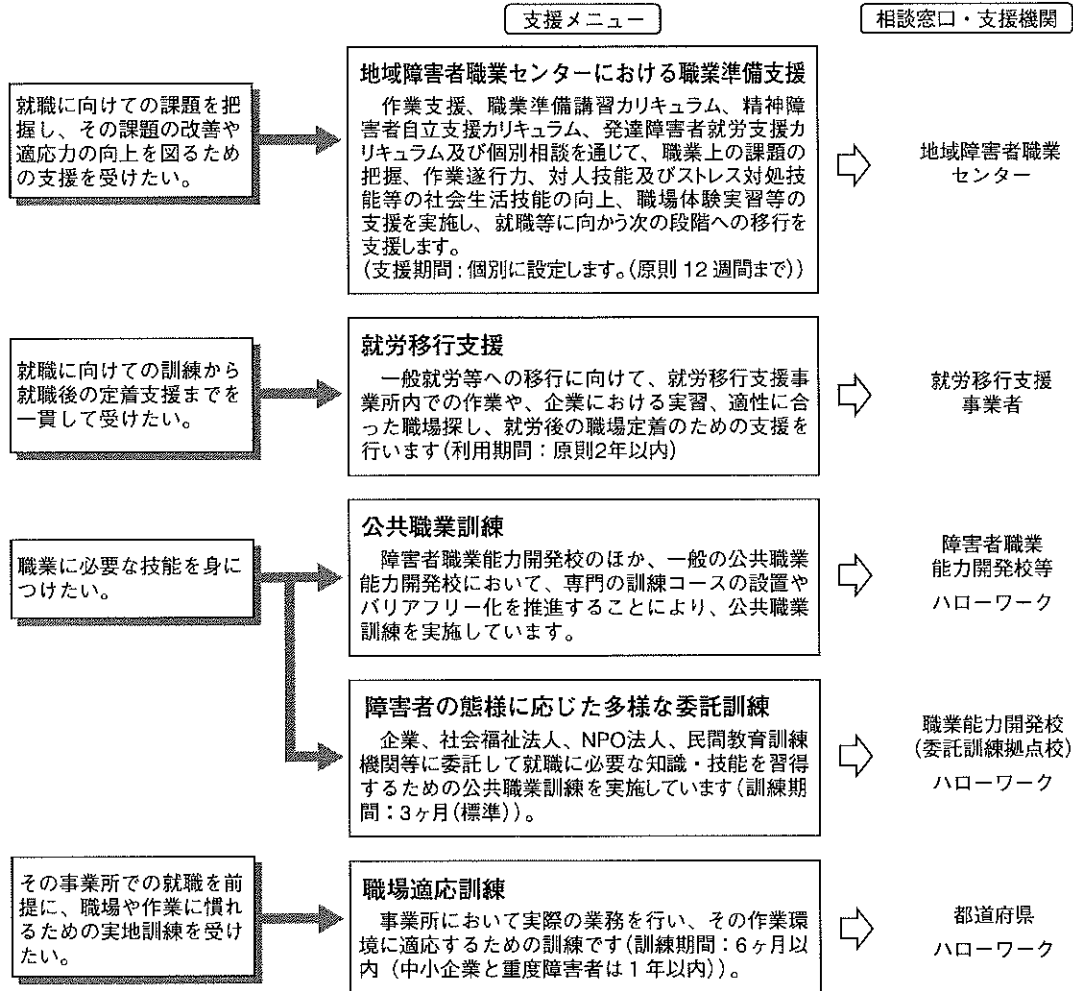
以下のメニュー一覧のうち(1)から(4)は、就労を希望する障害者の方がニーズや場面に沿って参照しやすい形にまとめたものですが、これらのメニューのうち◆

印のものは、事業主の方も支援を受けることができるメニュー、又は事業主の方対象のメニューです。

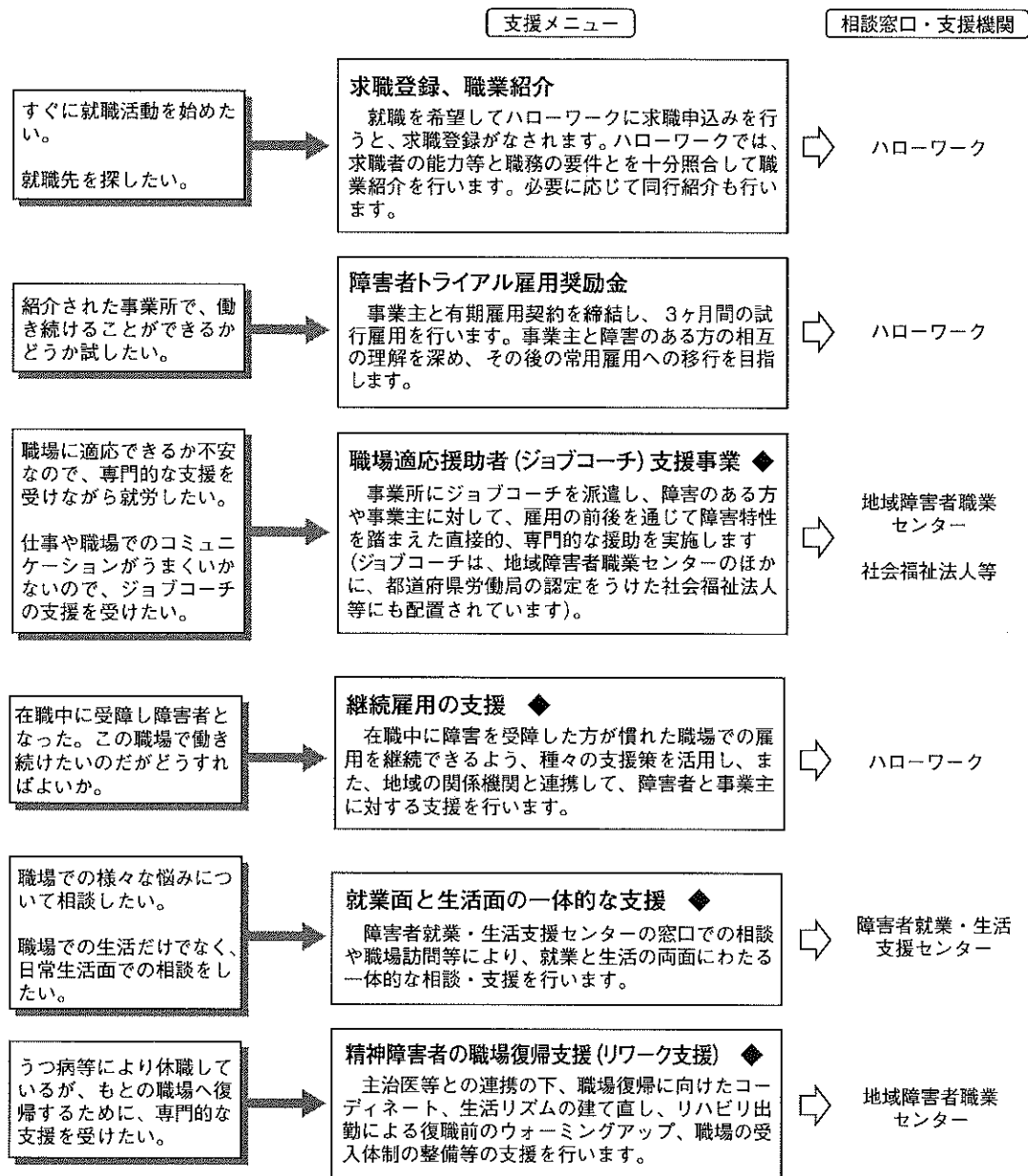
(1) 就職に向けての相談



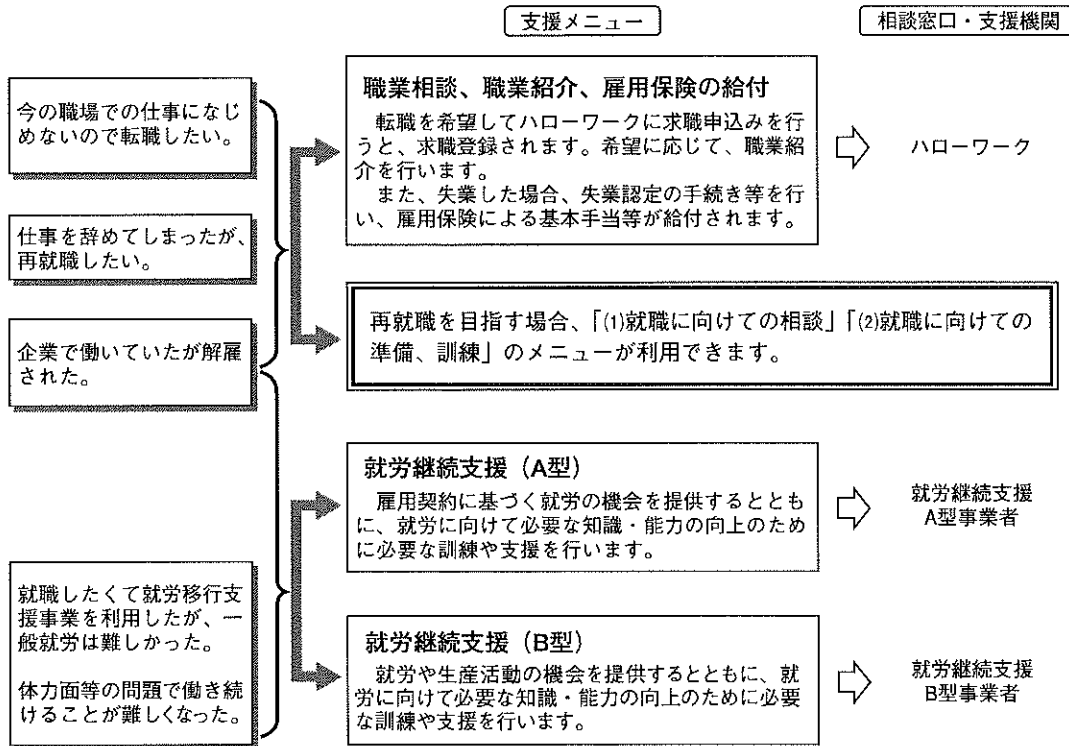
(2) 就職に向けての準備、訓練



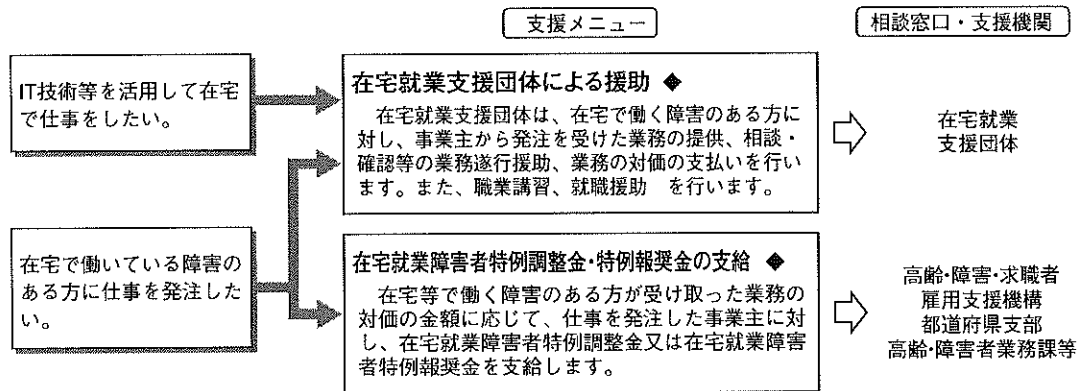
(3) 就職活動、雇用前・定着支援



(4) 離職・転職時の支援、再チャレンジへの支援



(5) 在宅就業の支援



(6) 事業主の方への支援

